



教育関係者・事業者部門
《地方公共団体》

消費・安全局長賞

福崎町食育推進委員会

(兵庫県) 活動期間 34年

いきいきと健康で明るい人とまちづくり

～地産地消の推進・食文化の継承・特産もち麦の利活用～

町の特産品を食育推進の中心に

町の特産品であるもち麦の4文字を頭文字にした食育スローガン（「も」う一度見直そう、「ち」いきの食材、「む」かしの食事、「ぎ」っしりつまった栄養素）を定め、食育推進基本計画を身近に感じてもらえるようにしました。特産品のもち麦の優れた機能性をPRすると共に、地産地消を心がけ、もち麦を学校給食に取り入れる等、町民の健康増進と医療費削減を目指しています。

食育指針

町では、食育推進計画を身近に感じられるよう、町の特産品であるもち麦（もちむぎ）の4文字を頭文字にした食育スローガンおよびキャッチフレーズ（食育4か条）を定めています！

■食育スローガン

もう一度見直そう
ちいきの食材
むかしの食事
ぎっしりつまった栄養素

■食育キャッチフレーズ

も…もっと食べよう！安全安心な地域の食材
ち…ちゃんと守ろう！「早寝・早起き・朝ごはん」
む…無理なくとろう！「まごは（わ）やさしい」
ぎ…行儀良く 楽しい食事で 健康家族

食育推進計画／食育指針

もち麦で地方創生

昭和60年代からもち麦を栽培している産地として、もち麦を単に消費するだけではなく、学校給食への提供、小学校の総合学習や中学校の家庭科の授業に取り入れるといった独自の取組により、食農教育・食文化の継承のシンボル食材としても位置づけています。また、連携大学、食育推進委員会、もち麦産地振興協議会の連携により、ダイエットレシピ本の作成、もち麦観光マップ（グルメガイド・ガイドブック）作成等の地方創生事業に取り組み、地域おこし事業も展開しています。

ダイエットレシピ本、もち麦観光マップ、ガイドブックなど



産学連携による食育活動の展開

平成24年度から、大学2校（神戸医療福祉大学・兵庫県立大学）と連携し食育活動（学童期運動食育教室、学童期肥満予防教室など）を実施。また、教授陣を講師に迎えたもち麦フォーラム、大学生による出前授業、レシピコンテスト、食育フェアを開催するなど、大学との連携強化により食育活動をさらに進めています。



料理教室



長年取り組んでいる食育関連事業が評価され、尽力いただいた関係者へ感謝申し上げます。今後も、地域で育まれた食文化を次世代へ伝承し、特産もち麦を活用した健康づくりなど、福崎の特性を踏まえた食育を推進します。

福崎町食育推進委員長
後藤 幸男